



防災訓練に参加する

防災訓練で気付くこと

皆さんは、町内会などが主体となつて、地域で開催する防災訓練や防災研修会へ参加したことがありますか。実際に地震などの災害が起きた時、平常心でいることは難しく、頭で分かっているても行動に移すことができなくなることもあります。いざという時に適切に動けるよう、家族みんなで防災訓練などへの積極的な参加をお願いします。

実際に、避難場所まで歩くことで、気付くこともあります。普段歩いている道であっても、地震が発生したことによって塀が崩れるなど、災害



▲大雨によって崩れた擁壁

時には危険な場所が変わっていることがあります。災害が発生した時を想像しながら、避難経路に隠れている危険を把握したり、災害の種類によって異なる避難場所へ行ってみることで、災害発生時に役に立ちます。

頼りになる地域のつながり

防災訓練などに参加することは、災害時にも大切な「地域の皆さんとのつながり」を築くことにつながります。

災害が発生し、家族だけではどうにもならない状況になってしまった時、一番近くにいる人は、近くで暮らす地域の皆さんではないでしょうか。救助隊などが到着するまで、それぞれがお互いに助け合うことで、守られる命があります。

価値観やライフスタイルが多様化し、地域のつながりが希薄化しているといわれています。防災訓練への参加が、地域の皆さんと交流する機会の一つになり、いざという時に助け合うことができる地域づくりの一助となります。

地域での取り組み

地域住民が集まり、自分たちのまちを自分たちで守るために結成する自主防災組織など、市内では、町内会をはじめ、多くの団体が、防災に向けた活動に取り組んでいます。

災害発生時に炊き出し支援を行おうと、同じ地域で暮らす人たちが集まって活動を始めた団体にお話を伺いました。



幌別鉄南地区連合町内会婦人部

部長 **山田美津恵**さん



▶ 灯油を燃料とする移動式調理器具も使用した炊き出し訓練

災害が発生したとき、避難場所などに避難している人に、温かい手料理で元気づけることができるよう、炊き出しグループを結成しました。2月には、炊き出し訓練として、避難場所に指定されている永和園で、災害時に使用できる設備を使用し、調理を行いました。

訓練を通して、炊き出しの手順や災害時に重要視される手際の良さを確認できたほか、参加者との交流を深めることもできました。

災害発生時には、地域で暮らす人それぞれができることを行い、支え合うことが、必要になると思います。今後も、定期的に訓練を実施して、発生するかもしれない災害に備えたいと考えています。